

【安全情報】 空き巣にご注意下さい～防犯対策

2016年1月25日

在留邦人の皆様へ

ミシガン州及びオハイオ州の一部の主要都市では、一般的な窃盗犯罪に加えて空き巣などの侵入盗犯罪も増加傾向にあり、その半分以上は住宅街（個人宅）で発生しています。絶対に犯罪が起きない地域などありません。「自分の近所は大丈夫」といった油断は禁物です。多くの警察がホームページ等で防犯対策を紹介しています（burglary prevention tips）。ここでは、少しでも被害に遭わないための防犯対策を紹介します。

1. 泥棒は現場に必ず何度か足を運ぶ

多くの泥棒は事前に現場の下見を行い、「外の電灯が故障している」、「自宅周辺が整理整頓されていない」、「2階の窓やカーテンが開けっ放し」、「ガレージドアが長時間開けっ放し」、「郵便受けに郵便物が溜まっている」など一見して防犯意識の低くそうな家に目をつけ、その後家人の行動パターンを数日かけて調査することもあります。家の近くに普段見かけない不審な車が長時間駐車している場合等には警察に通報するなど高い防犯意識を持つことが大事です。

2. 泥棒の最大の敵は「光」と「音」

泥棒は「光」と「音」を犯行時に最も嫌がります。セキュリティシステムの導入が望ましいことですが、一般的な空き巣に対する対策として、①自宅周辺の整理（普段から周囲の変化がわかるようにする）、②屋外の電灯の点灯、③玄関に防犯カメラ、センサーライト（動きを察知して点灯するライト）の設置（ダミーでも効果あり）、④玄関扉などに簡易のアラーム装置を取り付ける、⑤出入口及び窓の補強と確実な施錠などが考えられます。

3. 被害を最小限にする行動をとる

①多額の現金を自宅に保管しない、②貴重品は分散して保管する ③身分証・カード類、貴金属類の保証書の番号などを控えておく（写真でも可）など被害に遭ってしまった際に被害を最小限することも重要です。

4. 犯人が潜んでいる可能性があります

万が一、空き巣被害に遭ってしまった場合は、家を出て車の中など安全な場所から警察に通報（911）して下さい。犯人が家の中に潜んでいる可能性がありますので、自分で被害状況を確認することはせず、警察が到着するまで待つことが賢明です。

Someone broke into my home. I am outside in my car. Please send a police officer. My address is …
（空き巣の被害に遭いました。私は外の車内にいます。警察官を派遣して下さい。私の住所は〇〇です。）